

AUTUMN READS

第3号

“YOUNG ADULT”とは13～19歳の世代の人たちをさし、「若いおとな」という意味です。

高松市中央図書館では、YA（ワイエー）と呼んで、図書館員がこの世代の皆様にお勧めする本のリストをホームページに掲載したり、児童コーナーに特集コーナーを作ったりしています。色々なジャンルの本をご用意していますので、是非足を運んでみてください。

【お問合せ】高松市中央図書館 高松市昭和町一丁目
2-20

電話 (087) 861-4501

<https://www.library.city.takamatsu.kagawa.jp/>

【AUTUMN READS (第3号)】

令和4年11月15日発行
高松市中央図書館YA選書会

こころ

10代の悩み・心の問題に効く本

『生き抜くための整体』

片山 楊次郎／著

河出書房新社 2014年9月

492／カタ

体を整えると、心にも変化が？

自分でできるちょっとした整体が、心まで整えてくれるとしたらどうでしょう。この本では、日常のちょっとした動作は心のどんな状態を表しているのか、そしてどこを触れば心と体がどう反応するのかを、やさしく説明してくれています。

「首に手を当ててゆるめる」「みぞおちで自分のリラックス度・緊張度を調べる」など、今すぐできることがいっぱい。リラックスしたい、集中したいときにいかがでしょうか？

部活

部活についてや、部活を主にした物語

『おとめの流儀。』

小嶋 陽太郎／著

ポプラ社 2015年11月

9136／コシ

「なぎなた部」、始めました。

中学校に入学した主人公、さと子が入部を決めたのは中学校ではめずらしいなぎなた部でした。意気揚々と道場に向かいましたが、たった一人の2年生の先輩から廃部の危機を告げられ部員集めに奮闘します。

なんとかメンバーが集まったなぎなた部ですが、先輩からある目標が掲げられます。それは意外な対戦相手との試合でした。

進路

進路に関するデータや実用書、物語など

『珍獣ドクターのドタバタ診察日記』

田向 健一／著

ポプラ社 2017年8月

649／タム

命と向きあうということ

犬や猫などペットとしてよく飼われている動物から、ワラビーやアリクイ・トナカイなどの珍しい動物まで、100種類以上の動物と向きあってきた獣医・田向健一さん。田向さんが獣医を目指した理由や、珍獣ドクターとなるまでの日々を綴っています。

獣医を目指している人はもちろん、いま動物を飼っている人や進路に悩んでいる人にもおすすめの1冊です。

知識

様々な知識に関する本

『図解でわかる14歳からのLGBTQ+』

社会応援ネットワーク／著
太田出版 2021年9月
3679／スカ

考えてみよう ジェンダー・LGBTQ+

この本は1ページにつき1つのQ&A方式で、法律・制度や文化・表現など、様々な視点からLGBTQ+やジェンダー・性について分かりやすく解説しています。

LGBTQ+の人は、割合として1クラスに3人いる計算になると言われており、皆さんにとって決して縁遠いものではありません。

興味があるテーマから読んで、自分なりに考えてみませんか？

ノンフィクション

ノンフィクション・エッセーなど

『学校に行けなかった中学生が漫画家になるまで 起立性調節障害とわたし』

月本 千景／著

中央公論新社 2021年12月

9160／ツキ

ある日突然、世界が変わった…。

勉強も運動も特に苦なく適度にやりこなし、クラスメイトとの関係も良好だった小学6年生の私。そんな私の、性格も生活も一変してしまうような「病気」の前兆は授業中に起こった。

朝起きられない、起き上がった時にめまいや動悸を起こす、授業の内容が耳に入っていない等の症状が現れる『起立性調節障害』。理解されにくい病気を、発症から再起まで、作者の実体験から追うコミックエッセイ。

物語

YA世代におすすめの物語

『ジェームス・ボンドは来ない』

松岡 圭祐／著

KADOKAWA 2014年3月

9136／マツ

直島にあのハリウッド映画が？

香川県の直島に、映画『007』ロケ誘致活動の話が持ち上がり、島が大好きな高校生の遥香もそれに加わります。最初は途方もないものに思えたその活動は、やがて想像以上の盛り上がりを見せ、あと少しで実現するかのようには思えたのですが……。

15年以上前に直島で実際にあった話をもとにした物語です。チャレンジすることの楽しさ、大切さを教えてください。

物語

YA世代におすすめの物語

『ラスト・フレンズ』

わたしたちの最後の13日間』

ヤスミン・ラーマン／著

静山社 2021年6月

933/ラマ

あなたのことをちゃんと見ている人がいる。

心や家庭にそれぞれ問題を抱えた3人の少女たち。彼女らは自殺サイトで知り合い、ともに死ぬ「仲間」として集うようになります。やがてそこには奇妙な友情が芽生え始めて……。

自殺という究極の選択をするところから始まる物語は、それぞれの視点から語られ、少しずつ真実が明らかになっていきます。たった1人でも、自分を気にかけてくれる人がいれば生きていけると思えるような1冊です。